

令和8年第6回  
西条市教育委員会 3月臨時会会議録

西条市教育委員会

令和8年第5回西条市教育委員会 3月臨時会会議録

- 1 開会及び閉会 令和8年3月15日(日) 午後6時00分  
閉会 同 日 午後6時27分

2 出席及び欠席

出席者	教育長	青野信樹
	教育長職務代理者	福田亜弓
	委員	磯 恒子
	委員	鳳 慶洲
	委員	一色一成

3 会議に出席した者

事務局長	串部佳隆
教育指導監	吉岡健二
副局長兼社会教育課長	佐竹浩
学校政策課長	渡部誉
教育総務課長	白石元
教育総務係長	田口剛洋

4 会議録署名委員

3 番委員	鳳 慶洲
4 番委員	一色 一成

- 5 その他 ・報告事項 議会からの請求監査の結果報告について

- 6 傍聴者 なし

7 議事の概要

教育長 ・ただ今から、令和8年第6回教育委員会3月臨時会を開催する。

教育長 ・本日の会議録署名委員に鳳委員と一色委員を指名する。  
・日程第3 その他の報告に入る。  
・「議会からの請求監査の結果報告について」事務局より説明を求める。

(学校政策課長説明)

・ただいまの説明について、質問等ございませんか。

- 鳳委員 ・ 勧告に従わなかった場合、どのような影響があるのか。
- 局長 ・ 勧告自体に法的拘束力や強制力はありません。しかし、勧告に従わない場合、監査対応や、監査請求を行った議会との調整が発生する可能性がある。
- 教育長 ・ 他に何かご質問等ございませんか
- 福田委員 ・ 今回の監査勧告では、方針と計画を同時にパブリックコメントにかけるよう強く要望されている。これらを一本化する場合と、段階的に進める場合で、進捗にどのような違いが生じるか。
- 学校政策課長 ・ 早急の計画策定を求める声がある一方、拙速な策定は不信感を招くとの意見もある。まずは市の考え方とロードマップを示し、理解を得た上で次のステップに進むことが、結果として計画の実効性を高めるのではないかと思う。
- 一色委員 ・ 慎重に進める地域や保護者の声を踏まえると、結果ありきで進めているという不信感をあおるよりも、段階を経て丁寧に説明する方が適切だと考える。
- 礒委員 ・ 丁寧に進めて行く気持ち、すごく理解できるし、大切なことだと思うが、監査勧告が一本化で結果を出しているのなら、一本化で進めることに市民も理解されれるとも思う。不信感をあおらないように二段階にしているのなら一本化に変更するべきか迷う部分もある。もう一回一からやり直すとか、手間がかからないなら、監査の勧告通りにしてもいいかなとも思う。
- 福田委員 ・ 監査結果を重く受け止めている。学校規模適正化については、子どもたちにとってより良い環境を整えるという原点に立つことがとても大切で、教育委員会として責任を持って進めていく、丁寧に進めていくことが必要かと思う。基本方針について広く意見を伺い、その上で具体的な計画をより実態に即した形で整理をし、丁寧に進めていくことが教育委員会として責任のある進め方ではないかと思う。しかし、二段階方式は多くの自治体で採用されている手法である。本市も地域課題を踏まえ協議を重ねた結果、二段階での合意に至った経緯がある。現時点では、二段階での進行が誠実な対応ではないかと思う。
- 礒委員 ・ パブリックコメントを2回実施することで、丁寧な対応であると市民に理解してもらえるのか。

一色委員 ・方針と計画、それぞれに対して意見を伺う形となる。一本化する場合、方針を決める前に計画案も提示することになり、市民への説明が不十分になる懸念がある。一本化と二段階で、日程にどの程度の差異があるのか。

局長 ・1回で進める場合、6月の総合教育会議に諮れば3～4ヶ月短縮できるが、日程は非常に厳しくなる。事務的にどこまで進めるかという話になると思う。今は10月の総合教育会議で決定の予定である。6月の総合教育会議にかけられるかどうか、日程的に厳しいところも出てくると考えている。そこで決定ということになると、パブリックコメントをいつかけていくかということになる。広報紙の発行の締め切りを考えると、逆にあまり周知ができないことも考えられる。5月までにパブコメを終わらせ、6月に一本の方針・計画を決定するとなると、5月のゴールデンウィークを挟み、それがいいのかどうかということも考えていかないといけない。6月の総合教育会議に案を決定するというということになると、最終的には10月の総合教育会議で計画決定ということになる。今の方針・計画と分けた進め方と大差はなくなる。早く案を作り、パブリックコメントを6月の総合教育会議までに行い、計画を作っていくことになる。ただ、一本の計画案を作るにしても、今からもう一度事務局で練ることになると、22日に教育委員会の臨時会があるので、そこで提示させてもらい、教育委員会で議論をいただき、4月2日には案を議決してもらわないといけなくなる。非常に内容を練る時間が足りないのかなと思う。監査自体は一度出ている計画でいいので、もうすぐ出せるだろうということになる。監査の勧告自体も教育委員会で図り、総合教育会議にかけ、その手順を踏んでというように出ている。そこを乱暴にやってしまうと、結局また元に戻ってしまうのかという気はする。手順を一つ間違えると、6月は難しいと思う。丁寧に委員会の中でも議論していただくようにすると、結果的には10月になってしまうと考えている。

一色委員 ・結論として、期間に大きな差は生じないという理解ですかね。

局長 ・はい。十分な審議時間を確保すれば、結果的にはそうなると思う。そこをどうしても時間を巻いて早くするんだと、一本なんだから早くするんだということになると、審議する時間もなかなか取れない。

- 一色委員 ・その話でいくと、今の時期に関しては慎重に丁寧に、その後、地域と合意形成を取りながら進めていこうというタイミングで、後で巻こうと思えばどこまででも巻けるような気がする。ただ、今の時期に理解が浅い状態で、いろんな物事を決定ありきで行ってしまうこと自体が反発を招き、ずっと後に尾を引くのではないかと懸念する。
- 鳳委員 ・私もこの期間が非常に気になっていたところではあるが、一本化しても日程的にタイトになり、結果的に審議の時間が少なく、決定が一緒ぐらいになるというのであれば、二段階で進めるべきである。
- 局長 ・追加として、この3月議会で二段階に分けていくことを教育長からも答弁させてもらっている。議会にはそれで通じていると思う。議場で答弁されたことで、それを見聞きした市民も、そう進めて行くという認識がある。4月1日から基本方針でパブリックコメントをかける予定にしているが、それを下げないといけなくなる。下げた後に、方針を変えたことをどこかで市民向けに周知もしないといけない。議会で答弁したのも勧告を受けて変えるとなると、市議会議員にも周知していかないといいなくなる。その期間を考えていくと説明したように、結果的にはそれほど差異が生じないと思う。
- 教育長 ・他にご意見ございませんか。ご意見がないようなので、それでは、勧告通りに一本化する案と、従来通り二段階で進める案について採決を行う。二段階で進めることに賛成の方は挙手をお願いします。
- (挙手全員)
- ・挙手全員により、二段階で進めることに決定する。
- ・その他ございませんか。
- 学校政策課長 ・広報4月号に基本方針案のパブリックコメント情報を掲載する準備をしていたが、勧告を受け掲載を見送った。決定事項に基づき、広報への折込チラシで周知を図る対応を取りたいと考えている。
- 教育長 ・他に何かございませんか。

ないようですので、これで第6回教育委員会3月臨時会を閉  
会する。

了

会議録署名委員

3番委員

4番委員